

にぎわい

vol.249 近畿版

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク通信

京都舞鶴港うみとびら 新旅客ターミナルが完成 1年半ぶりにクルーズ船が寄港しました

京都府
舞鶴市



舞鶴港第2ふ頭で京都府が整備していた新しい旅客ターミナル「京都舞鶴港うみとびら」が完成し、令和3年4月1日から使用を開始、同月3日に寄港したクルーズ船「飛鳥Ⅱ」を迎えました。

舞鶴港は平成23年に外航クルーズの「日本海側拠点港」に指定された後、クルーズ船の入港は、平成29年には過去最高の42回、令和元年には34回で、来訪者は過去最高の8万8千人を記録しました。ところが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、令和2年の舞鶴港へのクルーズ船寄港予定はすべてキャンセル。ターミナルはコロナ後を見据えて整備され、クルーズ船の寄港に向けて、感染対策をまとめた旅客ターミナル感染症対策ガイドラインを公表するなど準備を進めてきました。今回寄港した「飛鳥Ⅱ」は、令和元年10月以来のクルーズ船寄港となります。

ターミナル内は関係者しか入れませんでした。当日は天候も良く、少し離れたところから「飛鳥Ⅱ」の出港を眺めている方が数十人集まっていました。

「飛鳥Ⅱ」をじっと見つめているおばあさんに、お話を伺ったところ、

「お昼のニュースを見てクルーズ船が来ていることを知りました。去年は1隻も入らなかったのが寂しかったけど、今月はもう一度来る(4/18・「飛鳥Ⅱ」が寄港)し、とても楽しみにしています。」とのこと。

「いつもおじいさんと二人で出て行く船に車で行けるところまでついて行く」のだそうで、

「あなたも、また見に来なさいね」と言われました。

5月には「にっぽん丸」が寄港し、7、8月には「ぱしふいっくびいなす」が舞鶴港を発着する予定です。

(近畿ブロック 舞鶴港湾事務所)